

専務室 事業計画

室 長 小久保 凌

つくば青年会議所が地域を明るく豊かな社会にするための運動を進めるために欠かせないのが、メンバーが輝く強固な組織運営です。メンバーが飛躍的成長を目指し、地域を巻き込む運動をするにあたって、足元の組織がおぼつかなくては満足な結果を出すことはできません。一人ひとりが輝く強固な組織運営には、メンバーが飛躍的成長をすることのできる運営基盤と、国内で起こる大規模な災害に備えた組織運営を目指すことが必要です。

つくば青年会議所は、2011年の東日本大震災、2012年の竜巻被害などを契機として、地域行政や関係諸団体の皆様と災害時における支援活動に関する協定を結び、連携を進めてきました。そこで全メンバーの意識向上と災害発生時における迅速な対応を行えるよう、防災意識涵養事業を開催することで、常日頃から災害を想定して備えをしていきます。次に対外の友好団体との連携推進として、姉妹LOMの韓国北大田青年会議所との交流と継承により絶えることのない関係性の構築を目指します。また、筑波学院大学とのOCP（オフキャンパスプログラム）の開催を推進し、地域におけるそれぞれの役割を考え、認識することで地域社会と個人の関係性を理解していただき、つくば青年会議所の運動や各事業効果の最大化に努めます。青年会議所内においては出向者を応援し、活動を支援するためにも出向先の事業と出向者情報の取りまとめや発信に努めることで、出向先との連携を行うことで飛躍的成長の基盤を提供します。関係諸団体との連携により日々の青年会議所運動の最大化を図ることで、災害時に連携をとれる関係性を構築していきます。

飛躍的成長を遂げたメンバー一人ひとりが輝く強固な組織運営は、つくば青年会議所の各事業効果を最大化し、常日頃から災害を想定した関係諸団体との連携のとれる組織運営は、災害時に真価を発揮することで、未来への希望溢れる街を創ることにつながります。

職務分掌

1. 韓国北大田青年会議所との交流
2. 筑波学院大学とのOCP（オフキャンパスプログラム）の推進
3. 防災意識を涵養する事業の企画・実施
4. 防災協定を締結した諸団体との連絡・調整
5. 災害発生時における情報収集・共有、救援活動の統括
6. 日本青年会議所・関東地区協議会・茨城ブロック協議会の運動発信協力
7. 出向先の事業、出向者情報の取りまとめと発信